広報
2023 No.572 10月号

かざまうら
KAZAMAURA

第31回青森県民駅伝競走大会

村の花鳥木魚

はまなす　かもめ　ひば　あんこう

村民憲章

1、わたくしたちは、きまりを守り、親切で明るい村をつくります。
1、わたくしたちは、仕事に喜びをもち、豊かな村をつくります。
1、わたくしたちは、青少年に希望を老人に生きがいを、そして心のあたたかい村をつくります。
1、わたくしたちは、自然を愛し、花と緑の美しい村をつくります。
1、わたくしたちは、常に知識を求め、スポーツに親しみ、楽しい村をつくります。

■発行／風間浦村役場　■編集／企画政策課　■ＨＰアドレス／http://www.kazamaura.jp/　■印刷所／協同印刷工業株式会社

第31回青森県民駅伝競走大会　村の部７位

第３１回青森県民駅伝競走大会が、９月３日（日）に青森市で開催されました。

今大会は、４年ぶりに公道での開催となりました。

コースは、県観光物産館アスパムをスタートし、ゴールのカクヒログループアスレチックスタジアムを目指して約２６．１キロの距離を選手一丸となって走り切り、村の部７位、総合３７位でした。選手一人一人が一生懸命たすきを繋ごうとする姿勢は村民に勇気と感動を与えてくれました。村を代表して大会に出場した選手の皆さんに感謝し、今後更なる活躍を期待します。

村民の皆様の温かいご声援ありがとうございました。

青森県民駅伝を走り終えての感想

第１区
能渡　遼太郎
（田名部高校２年）

４年ぶりの公道開催となった今回の駅伝は、初めての１区で緊張しましたが、２区で待つ弟にたすきを渡すことが出来て良かったです。

応援ありがとうございました。

第２区
能渡　啓士郎
（風間浦小学校４年）

緊張したけど、最後まで走れたので良かったです。

兄からたすきを渡されてそこからは安心して走れたので良かったです。

来年も県民駅伝に出たいです。

第３区
齊藤　雪愛
（風間浦小学校６年）

道路を走るのは初めてだったので、とても緊張しましたが、自分の思うような走りができたので良かったです。

あと、みんなで一生懸命たすきを繋いでいけたのでやってよかったなぁと思いました。

第４区
中村　裕紀
（海上自衛隊大湊システム通信隊）

今回の県民駅伝は４年ぶりの出場でした。思うようなタイムは出ませんでしたが何とかたすきを繋げられてよかったです。来年はトップとの差を縮めることに集中して全区間のたすきリレーを目指します。

応援ありがとうございました。

第５区
荒木　颯太
（風間浦中学校２年）

今回の駅伝では、補欠だったけど走ることになり、練習時間も少なく思うように走れなくてずっと越されてとても悔しかったので、来年は出られるか分からないが２ヶ月前から練習をして村のたすきを繋いでいきたいです。

第６区
前田　栞奈
（風間浦中学校２年）

初めて駅伝を走りました。

他の選手全員が速そうに見えてとても緊張しました。

前の区間の人たちが繋いできたたすきを次の選手に繋ぐことが出来ず、繰り上げスタートになってしまいとても悔しかったです。

「私がもう少し速く走っていれば、たすきは繋がっていたのに」という思いでいっぱいでした。ですが、みんなと合流した後「お疲れ」と言われ心がホッとしました。

応援してくれた全ての人に感謝を伝えたいです。

ありがとうございました。

風間浦村チームのメンバー

監　督	林　拓弥	（風間浦消防分署）
コーチ	浜辺俊一	（村陸上競技協会）
コーチ	中村純樹	（風間浦中学校教諭）
第１区	能渡遼太郎	（田名部高校２年）
第２区	能渡啓士郎	（風間浦小学校４年）
第３区	齊藤雪愛	（風間浦小学校６年）
第４区	中村裕紀	（海上自衛隊大湊システム通信隊）
第５区	荒木颯太	（風間浦中学校２年）
第６区	前田栞奈	（風間浦中学校２年）
第７区	早坂侑真	（風間浦消防分署）
第８区	能渡柚佳	（風間浦中学校１年）
第９区	金田一翼	（風間浦中学校３年）
控　え	井戸端昂介	（風間浦村役場）
同	金森威明	（川内消防分署）
同	松本莉雄	（風間浦中学校１年）
同	山本彪牙	（風間浦小学校４年）

第７区
早坂　侑真
（風間浦消防分署）

暑さで思い通りの走りができなかったのがとても悔しい。
繰り上げスタートになってしまったが、チームで最後までゴールできたことは良かったと思うので、次はタイムを少しでも縮めることが出来ればと思う。

第８区
能渡　柚佳
（風間浦中学校１年）

初めて駅伝に出場しました。12：00になってスタートした時、まだ出番ではないけど緊張で脚が震え出しました。出番がきて走るときはたすきは受け取れず、繰り上げスタートでしたが、最後まで走り切ることが出来ました。次の県民駅伝に出ることができたら、今回よりも多くたすきを繋げたいと思います。

第９区
金田一　翼
（風間浦中学校３年）

県民駅伝では９区のアンカーとしてしっかり走りました。
前の日は中村先生と一緒に走って練習してホテルでしっかり寝ました。
練習してきたことを全力で出し切り、頑張りました。
結果は37位でしたが村の部では前より順位が１つ上がってとても満足しています。
皆さんの応援があったおかげで走ることができました。
ありがとうございました。

選手団控え
山本　彪牙

選手団控え
松本　莉雄

第32回椴法華・風間浦友好地域子ども交流会

８月１日～２日、函館市において第３２回椴法華・風間浦友好地域子ども交流会が、４年ぶりに開催されました。

この交流会は友好村であった風間浦村と旧椴法華村（現在の函館市椴法華地区）の子どもたちが交流を通して友情を深め、お互いの地域について知ることを目的として開催されています。

今年度は、当村から１５名、椴法華地区から４名の児童が参加しました。

初めに、函館フェリーターミナルで開会式が行われ、椴法華教育事務所長から挨拶がありました。風間浦小学校６年の杉山琴美さんと椴法華小学校６年の小山内悠仁君より、出会いの言葉が述べられました。

１日目は、立待岬へ立ち寄り、記念撮影をした後に宿泊先である「ふるる函館」でオリエンテーションをしました。みんなで輪になり自己紹介をし、風間浦と椴法華はどんなところなのか学びました。夜は元町公園へ函館港まつりの花火大会を見に行きました。大迫力の花火にみんな大興奮でした。

オープニングセレモニー

出会いの言葉　杉山琴美さん

すぐに仲良くなれました♪

２日目は、函館山から雄大な景色を見学し、金森倉庫でお買い物をしました。昼食後、竹田食品へ工場見学に行き、商品が出来る工程を学び、お土産にイカの塩辛をいただきました。

そして、函館フェリーターミナルで行われた閉会式では、風間浦小学校６年の阿部栞奈さんと椴法華小学校４年の田中皇栄君より、お別れの言葉が述べられました。

参加した子どもたちは、始めはお互い緊張していましたが、自由時間に一緒にボール遊びをしたり、共通の話題に花を咲かせながら友情を深めていました。子供たちからは、とても楽しかった、友達が出来て良かったという声が多く聞こえました。

朝の函館山

※平成　３年（１９９１年）１１月３日
　風間浦村は北海道亀田郡椴法華村と友好村締結
平成１６年（２００４年）１２月１日
　椴法華村は同じ亀田郡の戸井町、恵山町、南茅部村とともに函館市に編入

工場見学（竹田食品）

金森倉庫でお買い物

別れの言葉　阿部栞奈さん

また会おうね！

ひとり親世帯等臨時特別給付金のご案内

食費等の物価高騰の影響を特に受けるひとり親世帯等の経済的負担を軽減するため、子育て世帯に対するひとり親世帯等臨時特別給付金（その他低所得の子育て世帯分）の支給を実施します。

１．支給対象者（※ひとり親世帯分の給付金を受け取った方を除く）

① 令和５年度の子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯以外）を受給された方
② 令和４年度中に実施した子育て世帯生活支援特別給付金（前回の国給付金）の支給対象者であった方
③ 令和５年３月３１日時点で１８歳未満の児童を養育する父母等であって、令和５年１月１日以降の収入が急変し、住民税非課税相当の収入となった方

２．支給額

児童１人当たり　一律５万円

３．給付金の支給手続き

上記①の方は申請不要です。②、③の方は申請が不要な場合と必要な場合がありますので、下記までご連絡ください。

【お問合せ先】
風間浦村　村民生活課　福祉介護グループ　☎０１７５－３５－３１１１

障害者相談のお知らせ（障害者相談支援事業）

村では、障害者相談支援事業を実施しております。障害のある人や家族からの様々な相談に応じ、必要な情報提供や障害福祉サービスの利用支援等を行います。
下半期の日程は下記のとおりとなりますので、お気軽にご相談ください。

日　時：毎月第３水曜日　　午後２時３０分～午後３時３０分
場　所：総合福祉センターげんきかん

◎令和５年度の相談日

令和５年１０月１８日（水）	令和５年１１月１５日（水）	令和５年１２月２０日（水）
令和６年　１月１７日（水）	令和６年　２月２１日（水）	

※むつ市にある相談支援事業所(知的・身体・精神)の相談支援専門員が相談や助言を行います。
※相談希望の方は、事前に下記までご連絡ください

【お問合せ先】
風間浦村　村民生活課　福祉介護グループ　☎０１７５－３５－３１１１

風間浦消防分署からのおしらせ

全国統一標語「**火を消して　不安を消して　つなぐ未来**」のもと令和５年１０月１６日から２２日まで**令和５年秋の火災予防運動**が県下一斉に実施されます。

この運動は火災が発生しやすい時期を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及を図り火災による死傷者及び財産の損失を防ぐことを目的として毎年実施されています。

住宅火災の発生を防ぐ対策とポイントを守り安全で安心して暮らせる村にしましょう。

住宅防火いのちを守る１０のポイント

＊４つの習慣・６つの対策＊

４つの習慣

○寝たばこは絶対にしない、させない。

○ストーブの周りに燃えやすいものを置かない。

○こんろを使うときは火のそばを離れない。

○コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く。

６つの対策

○火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する。

○火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、１０年を目安に交換する。

○火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは防炎品を使用する。

○火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく。

○お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく。

○防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う。

－住宅用火災警報器の設置及び維持管理について－

下北管内では火災予防条例により、住宅用火災警報器（以下、住警器）の設置が義務化され１０年以上が経過しています。

住警器は機器の劣化等から交換の目安が１０年とされています。ご自宅に設置されている住警器を一度確認し１０年が経過しているものについては維持・管理の徹底、又は交換の検討をお願いします。

なお、住警器をまだ設置されていないご家庭では早めの設置をお願いいたします。

【お問合せ先】

風間浦消防分署　予防係　☎０１７５－３５－２１０１

ごみは適切に処分するようにお願いします

８月末日、易国間避難道路（村道古野・大川目線）沿いにて、ペットボトル等のごみがポイ捨てされていました。

地元の警察官、不法投棄監視員も順次パトロールを行っておりますが、未だに上の写真のように、ごみのポイ捨てをする人がいます。

このような行為は**不法投棄**であり、５年以下の懲役、若しくは１，０００万円以下の罰金またはその両方が課せられます。（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第２５条より）

※村の環境を保つためにも、適切なごみ出しについて、ご協力お願いいたします。

【お問合せ先】
風間浦村　村民生活課　☎０１７５－３５－３１１１

（公社）青森県シルバー人材センター連合会よりお知らせ

風間浦村シルバー人材センターでは、会員を募集しています。知識や経験を活かして一緒に働いてみませんか

■募　集　要　件　　原則６０歳以上の風間浦村在住で、健康で働く意欲のある方
※会員は年会費２，０００円です。

■申込受付時間　　平日午前８：３０～午後４：００（土日祝日休）
※前もってお電話でご予約ください。

■持参いただく物　　各種免許・資格証明書
※入会される場合は縦３㎝×横２．５㎝の顔写真、印鑑をご用意ください。

※当月の作業に応じて、翌月に報酬（配分金）が支給されます。
※雑草等の刈払作業で使用する刈払機は各自持ち込みとなりますのでご了承ください。

【申込・お問合せ先】
風間浦村シルバー人材センター（風間浦村大字易国間字大川目１１－２）
総合福祉センター「げんきかん」　社会福祉協議会　事務局内
☎０１７５－３５－２２４３（担当：佐藤）

＊青森労働局委託事業：高齢者活躍人材確保育成事業
（公益社団法人青森県シルバー人材センター連合会）

令和５年度あおもりマッチングシステム「AI（あい）であう」登録促進イベント 女性限定Marriage Café（マリッジカフェ） in むつ

▽内　　容：「AI（あい）であう」のシステム説明や成婚者の声などもご紹介し、マッチングシステムへの登録の不安を軽減し登録促進を図ります。また、登録後の本人確認等の面談も同日に済ませるとともに、お見合い成立の精度を高めるためにメイクアップ＋プロフィール写真の撮影や自己PR文作成のためのサポートなども行います。カフェにフラッと立ち寄るくらい気楽に参加していただくためにカフェスタイル（スイーツ・ドリンク提供）で実施します。

▽日　　時：令和５年１０月２９日（日）１３時～１７時３０分（最終）

▽場　　所：北の防人大湊　安渡館（〒０３５－００９４　青森県むつ市桜木町３-１）

▽参加対象：１８歳以上の独身女性（１８歳到達後、最初の年度末まえの間にある者は除く。）

▽参 加 費：無料

▽参加特典：化粧品サンプル・個性心理學レポートプレゼント

▽定　　員：女性５０名（先着順）

▽申込締切：１０月２５日（水）

▽申込方法：「マリッジカフェ」特設サイトおよび電話・Ｅメールにて受け付け

詳細につきましては下記へお問合せください。

【申込み・お問合せ先】

あおもり出会いサポートセンター

☎０１７－７２１－１２５０　✉event@adsc.jp　≪特設サイト≫https://aideau.jp

法人の確定申告がインターネットでできます

青森県では、地方税電子化協議会が運営する地方税ポータルシステム（通称「eLTAX：エルタックス」）を利用して、インターネットによる法人県民税・法人事業税・特別法人事業税の申告受付を行っています。

ご利用方法などの詳細は、eLTAXホームページをご覧ください。

≪eLTAXホームページ≫https://www.eltax.lta.go.jp/

【お問合せ先】

下北地域県民局県税部課税課　☎０１７５－２２－８５８１　内線２０７

年金だより

国民年金保険料は全額が社会保険料控除の対象です！

日本年金機構から、「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」が対象者宛てに送付されますので、お手元に届きましたら、大事に保管し、年末調整や確定申告の際に使用してください。

送付スケジュールは次のとおりです。

「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」は、e-Taxで利用できる電子版の交付も行っています。マイナポータルから「ねんきんネット」にログインし、電子送付希望の登録をすると、マイナポータルの「お知らせ」で電子版を受け取ることができます。（登録をすると郵送がされなくなります。）

電子版の利用方法等については、日本年金機構ホームページで動画を掲載しています。

	対　象　者	送　付　時　期	
①	令和５年１月１日から令和５年１０月２日までの間に国民年金保険料を納付された方	郵送	令和５年１０月下旬から１１月上旬にかけて順次
②	①のうち、「ねんきんネット」において事前に電子送付希望の登録を行った方	電子送付	令和５年１０月中旬から１０月下旬にかけて順次
③	令和５年１０月３日から令和５年１２月３１日までの間に国民年金保険料を納付された方（①の対象者は除きます。）	郵送	令和６年２月上旬
④	③のうち、「ねんきんネット」において事前に電子送付希望の登録を行った方	電子送付	令和６年１月下旬

「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」に関する概要、よくあるご質問（Ｑ＆Ａ）等については、日本年金機構ホームページに掲載される予定（令和５年１０月上旬予定）ですので、ぜひご利用ください。

また、同ホームページに、お客様からの照会に対してチャットの形式で自動的に応答するチャットボット（控除証明書相談チャット）が開設される予定（令和５年１０月下旬予定）です。

「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」に関するお問い合わせ（電子送付に関するお問い合わせを除く）については、次のダイヤルでもお受けしています。

■問い合わせ先の名称　ねんきん加入者ダイヤル

■電話番号

（ナビダイヤル）０５７０－００３－００４

０５０から始まる電話の場合は、（東京）０３－６６３０－２５２５

■受付時間

- 月～金曜日　午前８時３０分～午後７時
- 第２土曜日　午前９時３０分～午後４時

※土日・祝日（第２土曜日を除く）、１２月２９日～１月３日はご利用いただけません。

第２回　青森県県民公開講座を開催します
青森県・弘前大学医学部附属病院　「脳卒中・心臓病等総合支援センター」

▽日　時　２０２３年１０月２６日（木）１５：００～１６：００

▽場　所　①弘前大学医学部コミュニケーションセンター
②弘前大学医学部附属病院　「脳卒中・心臓病等総合支援センター」内で実況中継
③ZOOMにて配信

▽内　容　①「脳卒中を予防するお食事」　講師：管理栄養士　嶋﨑　真樹子
②「脳卒中とお薬の付き合い方」　講師：薬剤師　大久保　翔
③個別相談会（希望者のみ）メールやお電話でもご相談できます

▽費　用　参加・相談ともに無料

▽定　員　現地開催・ZOOM　各１００名

▽申込み方法
①ホームページの「県民公開講座参加申し込み」から
②２次元バーコード内登録フォームから
③お電話、メールにて申し込み

【お問合せ先】
青森県・弘前大学医学部附属病院　脳卒中・心臓病等総合支援センター
☎０１７２－３９－５４５９　✉noushincenter@hirosaki-u.ac.jp

「看護のお仕事移動相談」を開催しています

青森県ナースセンターでは無料職業紹介事業として看護職の相談員が出向いて、看護職の皆様のお仕事探しをサポートしています。お気軽にお越しください。

開催日：令和５年　１０／１１（水）・１１／８（水）・１２／１３（水）
令和６年　１／１０（水）・２／１４（水）・　３／１３（水）

場　所：ハローワークむつ

時　間：１３時～１６時まで随時受付

＊青森県ナースセンター（青森市）では月曜日から金曜日の９時～１６時まで、来所・電話・メール等で随時、相談を受け付けています。どうぞご利用ください。

【お問合せ先】
公益社団法人青森県看護協会　青森県ナースセンター
〒０３０－０８２２　青森市中央３－２０－３０　県民福祉プラザ３階
☎０１７－７２３－４５８０　FAX０１７－７３５－３８３６
✉aomori@nurse-center.net

自筆証書遺言書保管制度について

遺言者が作成した自筆証書遺言書について法務局が預かり、保管する制度です。

遺言者から保管申請があれば、法務局が遺言書の方式に不備がないかを確認し、紙で５０年、磁気データで１５０年保管します。法務局で保管することにより、遺言書の紛失や改ざんの危険性もありません。

また、遺言者が希望すれば、遺言者が亡くなった後、遺言者があらかじめ指定した方に「法務局で遺言書を保管している」旨を通知しますので、遺言書の存在に気づかないといった心配もありません。

遺言を検討されている方は、是非この制度をご利用ください。

【お問合せ先】
青森地方法務局むつ支局　☎０１７５－２３－３２０２（音声案内３番）

むつ科学技術館だより

【シアター上映のご案内】
○１０：００～　○１５：００～
まんが偉人物語「エジソン/メンデル」
○１２：００～
Discoveryチャンネル「イヌ」
＜場所＞コミュニケーションシアター

【つくってたいけん工作教室のご案内】
＜開 催 日＞土曜日・日曜日・祝日に開催します。
＜開催時間＞１０：００～/１５：００～
「オリジナルキーホルダーをつくろう！」
※参加費・予約不要
＜場　　所＞つくってたいけん工作コーナー

【たのしい実験教室のご案内】
＜開 催 日＞毎週日曜日に開催します。
＜開催時間＞①１１：００～　②１４：００～
＜内　　容＞①「超低温の世界を調べよう」②「光の不思議を調べよう」
＜場　　所＞１階探求コーナー

【お問合せ先】
むつ科学技術館　☎０１７５－２５－２０９１　FAX０１７５－２５－２０９２
≪URL≫http://www.jmsfmml.or.jp/msm.htm

借金に関する相談窓口

相談員が借金の状況等をお伺いし、必要に応じて、弁護士等に引継ぎを行います。
一人で悩まず、ご相談ください。秘密厳守・無料です。

▽受付時間　　月～金（祝日・年末年始除く）
８：３０～１２：００、１３：００～１６：３０
▽相談専用電話　☎０１７－７７４－６４８８

【お問合せ先】
東北財務局青森財務事務所　理財課

戦没者遺骨をご遺族のもとへ

厚生労働省は先の大戦によって海外や沖縄、硫黄島で亡くなられた戦没者のご遺骨の身元を特定して、ご遺族のもとへお返しするための、DNA鑑定を実施しています。

戦没者遺骨の身元特定のためのDNA鑑定申請のご案内

現在、下記地域の戦没者のご遺族からDNA鑑定の申請を受け付けています。

【厚生労働省が遺骨収集を行ってご遺族の検体(DNA鑑定に使用する部位)を保管している地域】

○硫黄島　○インド　○インドネシア（西部ニューギニア含む）　○沖縄　○樺太
○旧ソ連等（旧ソ連、モンゴル）　○タイ
○中部太平洋地域（ウェーク島、ギルバート諸島、ツバル、トラック諸島、パラオ諸島、マーシャル諸島、マリアナ諸島、メレヨン島、）
○東部ニューギニア　○ノモンハン　○ビスマーク・ソロモン諸島　○フィリピン
○ミャンマー（ビルマ）

○申請できる方

上記地域の戦没者の
●配偶者　●子　●父母　●孫　●兄弟姉妹　●甥（おい）　●姪（めい）など
関係のご遺族が複数おられる場合は、遺族間の総意をできるだけとりまとめ、代表者が申請書を提出してください。

○申請方法

「DNA鑑定申請書」に必要事項を記載し、下記の申請書提出先に①メール　②FAX　③郵送のいずれかで提出してください。
※「DNA鑑定申請書」は厚生労働省にお電話で請求できます。ホームページからもダウンロードできます。

○申請書提出先（宛先）

①メール　dnakantei@mhlw.go.jp
②ＦＡＸ　０３－３５９５－２２２９
③郵　送　〒１００－８９１６　東京都千代田区霞が関１－２－２
厚生労働省社会・援護局　事業課　戦没者遺骨鑑定推進室

○DNA鑑定にかかる費用負担

DNA鑑定料は国が全額負担します。
※鑑定料の請求について厚生労働省からご遺族にご連絡することはありません。
※申請書の提出、検体採取キット及び同意書の返送の際の郵送料は自己負担になります。

○DNA鑑定申請にかかるお問合せ先

申請についてお悩みの方や、戦没地がご不明の方もまずはお電話ください。
☎０３－３５９５－２２１９（厚生労働省のDNA鑑定担当に直接つながる番号です。）

【お問合せ先】
風間浦村　村民生活課　福祉介護グループ　☎０１７５－３５－３１１１

SHIMOKITA GEOPARK

ほっとジオなひとときを

季節のジオだより
尻屋埼灯台

尻屋埼灯台は、明治４年に斗南藩からその必要性を訴える申述書が出され、同６年に着工となりました。現在も灯台に掲げられているプレートには明治９年１０月２０日に初めて点灯したとありますので、以後１５０年近い歴史を刻んでいることになります。

その尻屋埼灯台には、１４０年前の１０月に少し変わった記録が残されています。

明治１６（１８８３）年１０月２４日夜、尻屋、岩屋両村で火の玉の飛来が認められ、人魂が灯台に飛入ったと騒がれたといいます（笹沢魯羊『宇曽利百話』）。あろうことか、飛来した火の玉が尻屋埼灯台にぶつかったというのです。

当直の職員から非常招集がかかり、状況を確認の上、翌日には尻屋埼灯台主員から灯台局にあてて、次のような報告がなされました。

- ２４日午後８時３０分頃、北の方位から４インチ程の火球のようなものが飛来し灯籠の北側堅厚ガラス板に衝突し、ガラス板２枚を破損した。１枚は菊花のような破筋が生じ、もう１枚は丸い穴があいて破片が灯室内に散乱した。

報告を受けた灯台局は、１１月９日付で気象台に質問書を出したようです。同１５日付の気象台からの回答書が明治１６年１１月２１日付の『官報』にあります。割れたガラスの図も添えて以下の回答が示されています。

- 質問にあったような火球については実物を見ないと原因を突き止めるのは難しい。ガラスの割れ方などから推定すると、隕石が天空から斜めに降ってきてガラスに衝突したようだ。その石塊は残っていないようだが、灯室の内外に散逸したものをまだ見出せていない可能性もある。
- 高温高速の隕石の落下で火災が発生した例もあるが、今回は不燃物に衝突したことから火災を免れた。隕石の有無やガラスの溶解痕など精査の上再報願いたい。

本州北端の岬の先端に立つ細い灯台の最上部の灯籠のガラスを直撃したとはすごい確率ですね。続報が気になるところですがその後の詳細は不明です。

尻屋崎一帯は付加体堆積物の石灰岩などからなりますが、そこに貫入した閃緑岩の上に灯台は建てられました。強固な地盤の上で、さまざまな出来事を経ながらも航海の安全を見守り続けています。岩盤の上に立つ灯台を見ながら150年の時の流れに思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

灯台登り口の
初点灯日を示すプレート

閃緑岩の岩盤の
上に立つ尻屋埼灯台

今月のジオ図鑑

尻屋埼灯台

構　　造：白色塔型レンガ造
等級・灯質：第２等　単閃白光
（毎１０秒に１閃光）
高　　さ：３２．８ｍ

point

- 東北地方初の洋式灯台
- 現役のレンガ造り灯台では日本一の高さ
- 霧信号が設置された最初の灯台
- ２０２２年１２月１２日国の重要文化財に指定

風間浦駐在所広報

作成／貝森　慶樹

夕暮れ時・夜間の交通事故を防止しましょう

これからの季節は、日没が早まり、夕暮れ時から夜間にかけて交通事故が多発する傾向にあります。

村民の皆さん一人ひとりが交通ルールを守り、交通事故を起こさないように、また、交通事故に遭わないようにしましょう。

○歩行者の皆さんへのお願い

夕暮れ時・夜間に外出する際は、ドライバーから見えやすいように明るい色の服や反射材を着用しましょう。

○ドライバーの皆さんへのお願い

スピードを控えめにし、早目にヘッドライトを点灯しましょう。

また、対向車や先行車がいない場合は、ヘッドライトを上向きにしましょう。

秋の「安全・安心まちづくり旬間」について

１０月１１日（水）から１０月２０日（金）は**秋の「安全・安心まちづくり旬間」**です。

「安全・安心まちづくり旬間」とは、行政や警察、防犯協会をはじめとする関係団体や、関係機関が緊密に連携して、官民一体となった各種犯罪の抑止対策等を集中的に展開する期間で、自主防犯意識の向上を図ることを目的に実施するものです。

活動重点

1　特殊詐欺被害の防止
2　子供と女性の犯罪被害防止
3　鍵掛けの励行による窃盗被害防止
4　万引き防止

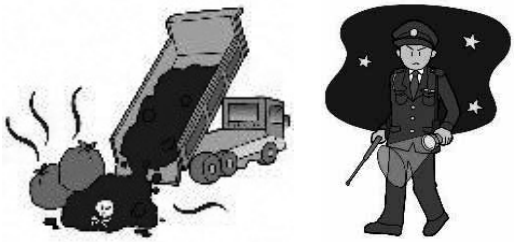
桑畑漁港における ゴミの不法投棄について

先月、桑畑漁港内の海底で、解体されたマグロの頭や尻尾等が投棄されているのが見つかりました。

ゴミの不法投棄は法律違反です。

大間警察署では、管内の漁港の警戒を強化しています。

不審な車両や不審者を発見した場合は、警察に通報してください。



「令和５年度憩いのコンサートin大間」の開催予定について

１１月２５日（土）午後１時から、北通り総合文化センター「ウイング」において、青森県警察音楽隊によるコンサートを開催予定です。

申し込み方法などについては、決定次第、大間警察署のホームページに掲載されます。

漁業関係者以外の人が昆布や布海苔等を採ると密漁になります。密漁は絶対にはやめましょう。

大間病院だより

「ブルーライト、悪いやつじゃないんだけどね」

内科医長　角田　健悟

皆さん、こんにちは。今年４月に大間病院に赴任しました内科医師の角田といいます。大間での生活も半年が過ぎ、下北ならではの素敵なものに触れながら楽しく日々を過ごさせていただいております。

さて、すっかり肌寒さを感じる季節になってまいりました。秋の夜長を楽しんで、ついつい夜遅くまでスマートフォンやテレビなど液晶画面を見てしまっている方もいらっしゃるかと思います。

これらの液晶画面からは「ブルーライト」と呼ばれる特定の波長の光が出ています。ブルーライトは目に悪いイメージで敬遠されがちですが、これ自体が人体に悪いものではありません。実は、気分を高揚させたり注意力を高めたりして体内時計をリセットし、脳を目覚めさせる役割があることが証明されています。朝日を浴びるとスッキリ目が醒めるのは、この光が特に太陽光に豊富に含まれているからなのです。他に、記憶の向上に寄与する可能性も指摘されており、日本眼科学会などの団体からは、小児がブルーライトカット眼鏡を着用することが逆に有害となる可能性が否定できないという声明が出されています。

しかし、この光を夜遅くに浴びてしまうとどうでしょう。脳は「今は昼だ、起きないと！」と勘違いして覚醒状態になります。すると、なかなか寝付けなくなり、睡眠が浅くなって疲労が十分に回復せず、翌日は一日中とても眠い…なんてことになってしまいます。また、ホルモンのバランスが崩れて肥満や糖尿病のリスクが上昇し、慢性的な睡眠不足により癌や心臓病すら引き起こされることが知られています。

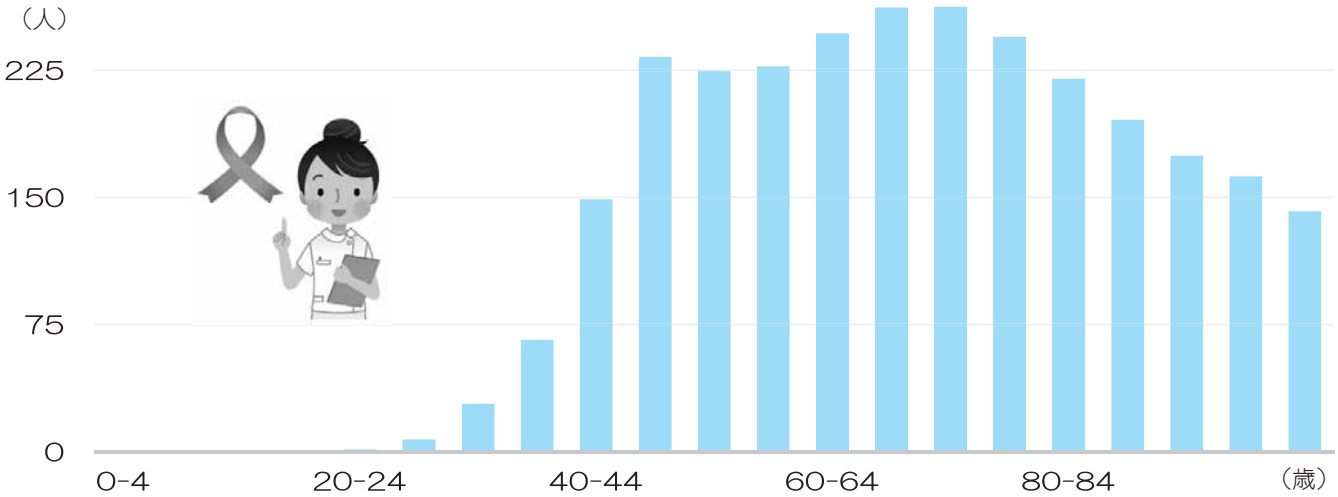
こうした睡眠の質の低下を防ぐためには、寝る１時間程度前から液晶画面を見ないようにすることが良いとされています。平均睡眠時間７時間２２分と主要先進国の中で最も睡眠時間が短い日本人。夜だけでなく秋の昼も食欲・芸術・スポーツと楽しみ尽くすために、しっかりと良質な睡眠をとりたいものです。

健康だより

４０歳以上女性は２年に１回乳がん検診を

厚生労働省が定めた乳がん検診の指針に基づいて、乳がん検診の対象は４０歳以上の女性です。頻度は２年に１度、検査内容は問診とマンモグラフィが基本です。早期発見し、早期治療を行えば、生存率は９０％以上です。乳がん検診を受診せずに放置すると、自覚症状がないまま悪化していくことがあります。早めに健康診断や人間ドックで検査を受けましょう。

乳がん年齢別罹患率（人口１０万人あたり）国立がん研究センターがん登録・統計２０１９



マンモグラフィ検査

１０万人あたり、年間に２５－２９歳では７．２人、４５－４９歳では２３２．９人が新たに乳がんと診断されています。

２０歳代の乳がんは決して多くはないので、検診の効果は低く、検査をしても乳がんが見つかる確率は低くなります。また、マンモグラフィは放射線を使う検査です。放射線被曝は微量とはいえ、できるだけ避けた方がよいです。

しかし、３９歳以下の方で乳房にしこりがあるなどの異常がある場合は、乳腺外科を受診して検査を受けてください。また、乳がんが発生しやすい遺伝子変異が見つかっている人は、定期的に検査を受けることが勧められています。

超音波検査

乳がんのセルフチェック

～毎月１回、１０分間　セルフチェックを～

乳がんは自分で気が付いて、病院を受診することが多いです。変化があった時に気がつけるよう、セルフチェックを習慣にしてください。

次回の乳がん検診は、
１１月２６日（日）です。

受付時間：１３時～１３時３０分
場　　所：村総合福祉センター
申込締切：１１月２０日（月）
申 込 み：村民生活課　☎３５－３１１１

何か気になること、相談したいことがあれば、遠慮なく村民生活課までご連絡ください！
【お問合せ先】風間浦村　村民生活課　保健衛生グループ　☎０１７５－３５－３１１１

社協だより

Vol.361

シルバー人材センター会員募集中！！

あなたの力をお貸し下さい

簡単な家事

屋内外掃除・窓ふき等

入会資格等

①風間浦村にお住まいの方
②年度中 60 歳以上になる方
③健康で働く意欲のある方
④年会費は 2,000 円です
⑤配分金（機械代込）は草刈り
　７時間で 8,000 円程度です

申　込　先

「げんきかん」
風間浦村社会福祉協議会　内

風間浦村シルバー人材センター

☎　０１７５－３５－２２４３
FAX　０１７５－３５－２１７７
（事業担当：佐藤）

植栽の剪定

（高所を除く）

雪かき（屋根雪を除く）

宛名・賞状書き

簡単な事務・整理 等

草刈り

草取り・刈り草集め

刈払い機をお持ちの方
草取りが出来る方、急募！

※必ずしも仕事が保障されるものではありません。

編み物ボランティアさん大募集！

村では子育て支援事業の一環として、子育て世代のお母さんを対象に編み物教室を開催します。編み物初心者に、基本から教えてくださるボランティアさんを募集しています。多くのボランティアさんにご協力いただき、初心者向けにじっくりサポートしたいと考えています。１１月～１２月に村総合福祉センターげんきかんで４回シリーズの編み物教室を開催予定です！編み物（かぎ針・棒針どちらでも可）が好きな方、大募集です。

協力していただける方は、**１０月３１日（火）**までに下記連絡先までお電話下さい。

昨年度の様子です

なお、教室開催前にスタッフの打ち合わせを実施します。参加者には、後日詳細について連絡いたします。

【お問合せ先】

風間浦村　村民生活課　保健・衛生グループ

☎０１７５－３５－３１１１

秋の交通安全運動

９月２１日（木）から３０日（土）までの１０日間、秋の全国交通安全運動が展開されました。

村では小中学生の登校時に街頭指導を実施し、交通安全の啓蒙活動を行いました。

秋口は日没時間が急激に早まります。交通事故を未然に防ぐためにも、自動車を運転する際はヘッドライトの早めの点灯、歩行者は反射材の着用や明るい服装の着用に心がけましょう。

私たちの村の人口

（８月末現在）

男	793人	（先月比－５人　）
女	842人	（　〃　－３人　）
計	1,635人	（　〃　－８人　）
世帯数	851世帯	（　〃　－６世帯）

（８月届出分）

●お誕生おめでとうございます

今月はありません

●お悔み申し上げます

大見　渉　さん　(60歳)　蛇浦
木下　邦男　さん　(87歳)　蛇浦
蛸島　太　さん　(62歳)　蛇浦
川島　久　さん　(95歳)　易国間